

館報 平野



発行所 平野地区公民館
☎ 8-2441

編集 平野地区公民館
館長 青木自助

発行日 昭和59年3月31日



わがいしゅもまっ青

老人。パワー全開!!

八雲寿会では、去る二月十五日と二十三日の2回にわたって八雲公民館を会場にダンス教室が行なわれた。

なごやかなムードの中で、ブルースを中心に、スロースロークイッククイックと声を出しながら相手の足を踏まないようにと足元をみながらの練習でしたが、流行の曲に合わせ踊る姿は何ともほほえましく、又バイタリティーを感じます。

教室が終ったあと懇親会のなかで、若い日には想像もできなかったとしみじみと語る姿は印象的でした。

もくじ

体育行事結果	2
獅子踊り(言い伝え)	3
新春放談会・生活文化展	4
カメラレポート(10月~3月)	5
特集・親の会研修会報告	6
小学校むし歯予防について	7
スキー場開発調査報告	8
新生活運動推進	9
	10

毎日の親を手本に子は育つ

体育行事結果 10月3日

○第八回平野地区少年卓球大会が十一月二十七日平野小学校体育館で行なわれました。

◎団体戦

- 第一位 善並チーム
- 第二位 大久保チーム
- 第三位 子坂Bチーム
- 第三位 子坂Aチーム

◎個人戦

小学校五年以下(男子)

- 第一位 小笠原 昭
- 第二位 青木 誠司
- 第三位 高橋 浩
- 第三位 今野 賢治

小学校五年以下(女子)

- 第一位 高世 純子
- 第二位 那須賀代子
- 第三位 今野佳代子
- 第三位 小関さおり



六年 (男子)

- 第一位 島貫 孝
- 第二位 大石 貴史
- 第三位 川村 康宏
- 第三位 片倉 武志

六年 (女子)

- 第一位 高世智亜紀
- 第二位 小笠原陽子
- 第三位 島貫 まり
- 第三位 今野 幸



○第二回平野地区分館対抗卓球大会が、去る十一月二十日 午前八時三十分より平野小学校体育館で団体戦(十五チーム参加)と個人戦あわせて二一五名が参加して熱戦が繰りひろげられました。

団体戦

- 第一位 川窪Bチーム
- 第二位 川窪Aチーム
- 第三位 善並チーム
- 第三位 子坂チーム

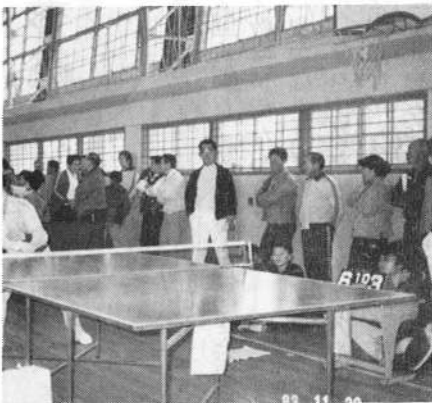
個人戦

男子の部

- 第一位 梅津 昭宏
- 第二位 小笠原秀雄
- 第三位 井上 秀一
- 第三位 土屋 俊彦

女子の部

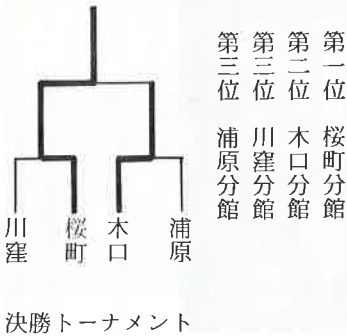
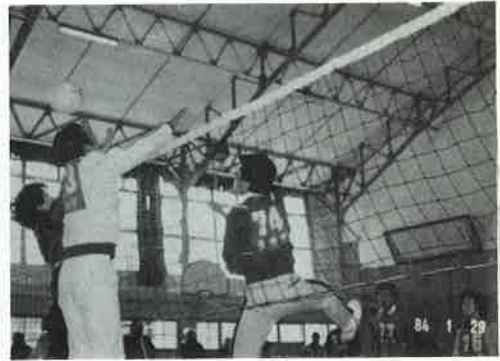
- 第一位 川村 智子
- 第二位 今野 千尋
- 第三位 青木よし子
- 第三位 高橋ハツ子





○第八回平野地区分館対抗バレーボール大会が去る一月二十九日平野小学校体育館で十三チーム百八十人が参加して白熱した戦いが行なわれました。

今年からルールが新しくなったことと、体育館が一つしかなかったためチームを4ブロックにわけ、それぞれリーグ戦をおこない、各ブロックの優勝チームが決勝トーナメントを行なって、勝敗を決める方法で実施しました。



- ※参考
- A ブロック(善並・川窪・子坂)
 - B // (八雲・桜町・大久保)
 - C // (北向・浦原・館)
 - D // (谷地寺・宮地・石塚・木口)

獅子踊り

言い伝え

最終回

私達の地域に獅子踊りが伝わった昔から、春秋の祭り大鼓の音と共に郷土の文化を守りつつ、人々の安らぎと豊かな生活を求め何百年も踊り継がれて今日にいたったことでしょう。

しかしながら昔から人々の暮らしはあの華やかな踊りのようにはいかなかった様子も唄の句で何かがわかります。

七ツから八ツまでつれて女獅子おぼ、これのお庭に隠し取られたなあにと女獅子隠しても、ひとむら薄きをわけて尋ねる

いつの時代も権力や悪者には悩まされておったのではなかったかと思えます。それでも心の和む様な唄も歌われています。

山蜘蛛は峰の薄きに巣をかけて
 風にもまれて、もほほほほ

お庭を誉める唄に
 舞へり来てこれのお庭を見よも
 やば 四方や四角の舟形に舞う

このように唄と笛の音に合わせて踊る獅子踊も昔は地域の重要物にされており、特に獅子はめったに持ちいて踊る事は許されなかつたそうです。そこで若者達は竹で作った箆で獅子に似た様に作り稽古をしたといわれています。

こうして踊り継がれた獅子踊りも今は後を継ぐ人も少なく心配されるそうです。

幸い平野小学校で校長先生はじめ先生方の御理解により、今、心一つにして一生懸命獅子踊りの稽古に励んでおられます事は、郷土の文化を守って行く事で立派な

ことと思えます。そして今後共いつまでもいつまでも絶えることのなく踊り継がれる事を願っております。
 (菊地力男氏提供)



盛会だった新春放談会

去る一月八日午後一時三十分より地区公民館において、寒梅香る中各団体より百十数名の出席を得ながら盛大に行なわれました。

今年も、青少年の健全育成について地域がどうかかわりあっていけばいいのかということで、長井高等学校長であられる水野多門先生を講師に迎え「青少年健全育成と地域の役割について」という題で二時間にわたって講演をしていただきました。

講演の中で先生は、(1) 地域における教育とは何か (2) 地域における教育の目標をどこにおくかを中心に話されました。



各団体より負担金のご協力をいただきありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

第五回平野地区生活文化展

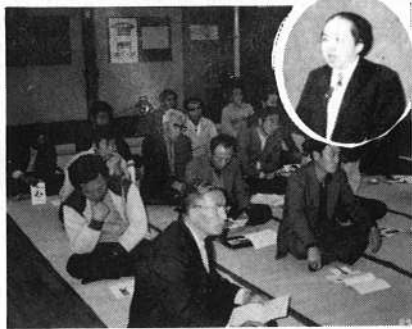
「創意と工夫で一人一作品」をテーマに第五回平野地区生活文化展が去る二月十日と十一日の二日間地区公民館を会場として行なわれました。婦人会、若妻会、せせらぎ、さしこ会、ホーキづくりグループ花木愛好会、ひまわり、カトレア、短歌会、川柳会等、地区内の団体には大変なご協力をいただき、そして、すばらしい作品を出品していただきました。それから特別出品として長井カメラクラブの写真展、平野児童館、平野小学校4年から6年生までの生徒による絵画と版画は生活文化展を盛り上げていただきました。一般出品者並びにみなさんの協力に對し厚くお礼申し上げます。来年は反省をふまえよりよい生活文化展にするため頑張っていきたいと思えます。地区民のご支援をよろしく願ひ申し上げます。



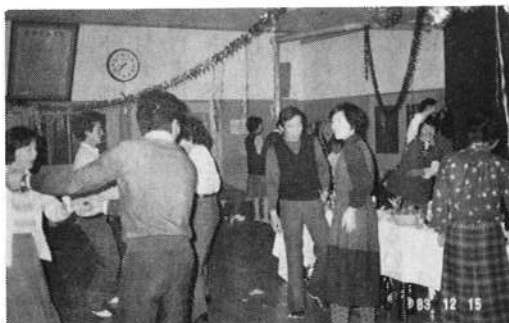
カメラレポート
(11月～3月)



11/24 野川学級 旅行の楽しみ方



11/12 分館連秋期研修会



12/15 農協青年部若妻部ダンスパーティー



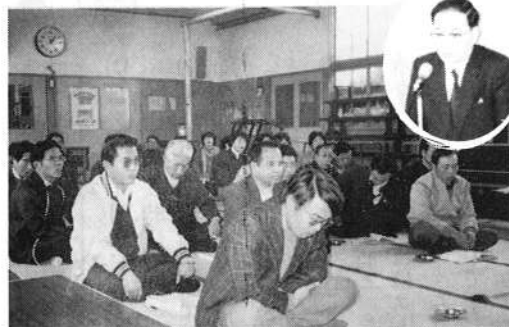
12/3～4 少年教室 飯豊少年自然の家で



2/25 幼児教育 親と子の体力づくり



2/20 少年教室 白山森スキー場にて



3/11・16 親の会 課題別研修会



2/28 野川学級閉級式 交通安全の講話

ことよりほめて認めてはげまして

第3年度の平野地区親の会

「次代を担う子供たち」の健全育成

親自らの研修と実践教育で



▼はじめに▲

平野地区親の会が去る五十七年一月発足して以来二年二カ月を経過しました。

中学校統合を期として、小、中、高校在学児童生徒をもつ親全員が会員となって、次代を担う子供たちの健全育成を願って、地域あげて実践活動を通し、「親」自らの研修を重ねながら明るい環境づくりに努めている。

青少年の問題行動が年々増加の傾向にあり、とどまるところを知らない。たしかに、すべての子供たちではないが、低年令化、集団化の傾向は事実であり、中学生が急増している今日です。

「親」として「地域として」、自らが何をなすべきかを確認し、お互いの立場を理解し合いながら実践することこそ、今求められている最大の課題といえます。

私たち「親」の立場で一諸に考え、語り合い、そして出来るものからみんなで行動し、息の長い着実な歩みを続けたいものです。

以下、昭和五十八年度の主な活動の経過を報告いたします。

▼今年度の事業報告▲

1 親子研修「グラント清掃

- (1) 日 時 8月14日(日)
午前6時集合～7時30分
- (2) 場 所 旧平野中グラント
- (3) 内 容 ○ラジオ体操
○グラント及び土手の除草・清掃
- (4) 参加範囲 小、中、高校生及び
会員
- (5) 持参道具など
○会員(親)は、草刈機、鎌、軽トラック、一輪車など

○子供たちは、草むしりの出来る服装で参加

◎意義と考察

今年度は、早期の実施としました。親子一緒に集い、ふれあい、語りの中で、奉仕活動を体験しながら、早期のさわやかなひととき。ちょうど地区運動会が近い時期だったので、自分達で整備したグラントで思いっきり走ろうと大勢の子供たち、そして会員の参加で行いました。

土手からグラントと、みるみるきれいになり、参加者全員「気持ち良いひと汗」を流しました。

2 新春映画鑑賞のついで

- (1) 日 時 1月28日(土)
7時～9時
- (2) 場 所 平野地区公民館
- (3) 内 容 2本立上映
○「閻魔さんのメッセージ」
○「はなをたらしした神」

◎意義と考察

忙しい毎日の生活と、テレビ洪水から離れ、ときにはストレス解消のひとときを……と今年度はじめて企画したものです。

「笑い」と「感傷」のユニークな二本の組み合わせでしたが、あいにく、時期と天候も悪い日となり、参加者が非常に少なかったのは、残念であった。



感謝する心ゆたかな子に育て

3 小中学生を持つ親の研修

- (1) 日 時 3月11日(日)
午後1時～4時半
- (2) 場 所 平野地区公民館
- (3) 内 容

○基調講演

長井南中樋口利夫校長先生

○分散会

助言指導をいただいた先生

長井南中樋口校長先生

堀越教頭先生

平井先生

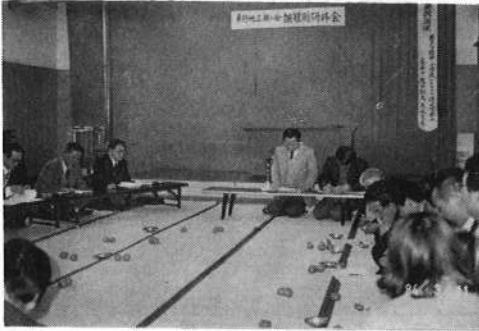
平野小 内谷校長先生

(4) テーマ 「統中の課題、小学校のうちから何が必要か」

昨年度行った研修会の結果を検討して、(イ)去年参加出来なかった会員も多くいること、(ロ)「親」としてさらに研修を重ね、どう対処すべきかを語り合おうと、今年度も同じ形式で行いました。

★基調講演から

一つのこと熱中できない、がまん強くない、物事を自己中心に考え比較思考ができない。物の貸し借りがルーズ、特に仲間意識についてはマイナス面に強く働いている。問題行動の集団化など、その実態について話しがありました。



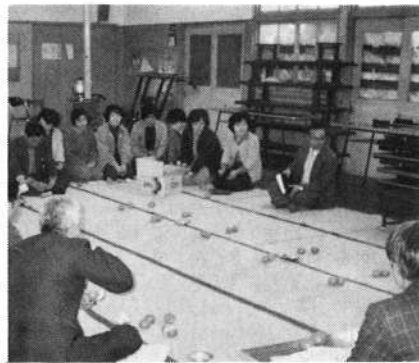
た。

何といっても小さいうちからのきちんとした躾が必要であること。そして、これを「親」が実践すること、又学校・家庭・地域での連けいを具体的に実施していくことの重要性を強く感じました。

★分散会から

さらに身近かな問題へと掘り下げるために三つに分かれて討論を行った。

家庭生活での親子のふれ合い、対話が少ない、仕事の分担、手伝いはどうか、現在中学校での問題事例などについて話し合いを進める中で、会員から実感としての意見が多く出されました。



「私たちがまだまだ勉強しなければ」、「がまんする気持ちをしつめるにはどうしたらよいか」、「親の生活そのものを改める点がある」……等々、真剣な討議が続き、実のある研修会でした。

4 高校生を持つ親の研修

- (1) 日 時 3月16日(金)
午後7時～9時
- (2) 場 所 平野地区公民館
- (3) 内 容

○基調講演

長井工業高校千葉寛校長先生

○座談会

(4) テーマ 「高校生の生活、非行の実態と私たち親の役割」

講師をお願いした千葉校長先生は、西置賜地区小中高生徒指導連絡協議会会長をされており、常に広く活動を実践されていることから、今年も指導をいただきました。

★基調講演から

中高生の時期は第二の胎前期といわれ精神的、肉体的バランスが不安定で、感受性が強く、又「親」と「子」の「心」のつながりがとだえる、親の依存から絶ち切る時期である。そのため小さいときから「人生の指導」つまり、生活能力、生きる方向づけをきちっと教えておくことが必要だと強調された。「してはならない」ことを並べる前に「何をすればよいか」を教えよう。

★座談会では

今回は参加者が少なかった反面、終始内容の濃い話し合いとなり、特に善行に対する評価、讃えはげますことの重要性や、「もう高校生だから」と親の方から離れていることも事実であること、地域行事や親子で行う実践活動は、やれば出来る、良かった事例などを混じえ活発な討議が展開された。

▼ま と め ▲

一朝一夕に求めるのではなく、実践を急ぎ継続できる会としたい。

むし歯を予防し健康な生活をいとなみましょう

平野小学校の実践活動から

昭和57年より文部省の指定をうけ実践にとりくんできましたむし歯予防活動も地域の方々の絶大なご協力により、着実にその成果をあげてまいりました。子どもたちの口腔内がたいへんきれいになったこと、むし歯治療率が著しく向上したことなどをあげることができます。こんごとも予防活動のためよろしく願います。



堺校医の歯みがき指導

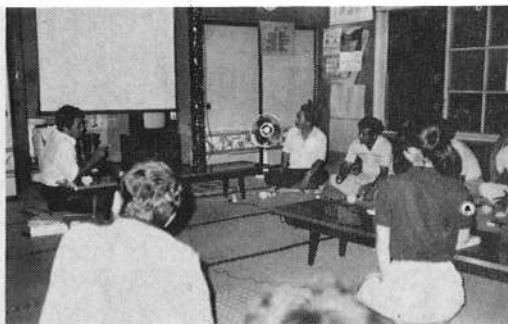


むし歯予防の授業

わたしのむし歯は、じどうかんのころからありました。夜ねるときいたくていたくたきながらねました。つぎの日、おとうさんとはいしゃに行きました。はいしゃさんの中に入ると、おっかなくて、ちりょうをするのがいやになってきました。わたしの番になりました。そんなにいたくなかったのほっとしました。ちりょうをしてもらってから、むし歯にならないようにフッソをぬってもらいました。

小学校に入学してから一年間はむし歯がでさなくてよかったのですが、二年生の一学期と二学期に、また、だいなおくばがむし歯になってしまいました。ほんとうにさんねんでした。あんなにがんばってはみがきをしたのにどうしてだろうと思いました。学校からもらったカードを持って、はいしゃさんに行って、ちりょうをしてもらいました。

わたしの前は、きょ年やとおとなのはになりました。とても大きな、つよそうなはです。このはがむし歯にならないように、毎日ていねいにはみがきをしようと思っています。それにあまいものを食べすぎないように気をつけていきたいと思っています。



部落健康教室



バレーボール大会での親子歯みがき

能力にあった期待で子を伸ばし

スキー場の概略

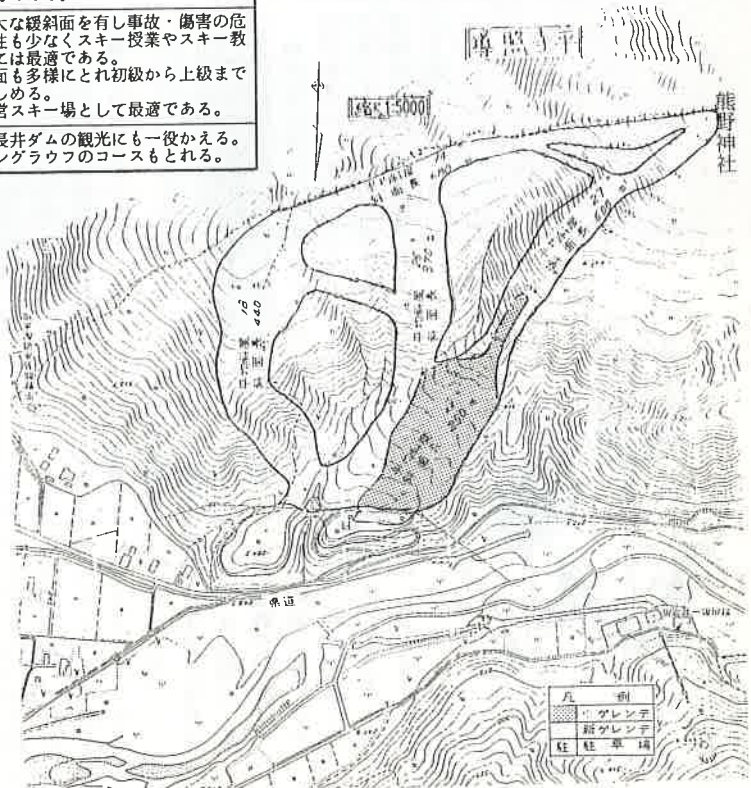
	調査の視点	道照寺平
地形	<ul style="list-style-type: none"> 中級緩斜面は十分にとれるか。(特に緩斜面の広さ) 斜面の長さは十分にとれるか。 雪のつきぐあい、雪質はどうか。 斜面の向きはどうか。(東西南北) 標高はどの程度あるか。 スキー実施可能期間はどのくらいあるか。 学校のスキー授業は十分にできるか。 開発は容易にできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 急・中・緩の総合斜面が十分にとれ、長さも十分である。(特に緩斜面が広大で危険性が少ない) 雪質・積雪ともに十分にあり比較的少ない雪で滑走が可能になる(3/20・150cm) 北斜面であり1日中雪質の変化があまりない。 12月中旬-3月下旬まで滑走が可能である。 標高(600m)・標高差(300m)ともに十分である。 ヒュッテのところまで逆斜面になっており安全性が高く女子並びに学校のスキー授業に最適 初級・中級・上級のスキーヤーを満足させるコースが十分にとれる。
	<ul style="list-style-type: none"> 山頂へ伸びる可能性はあるか。 交通の便・道路の事情はどのようになっているか。 総合的な開発はどの程度可能か。 人の集まる要素はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 山頂に伸びる可能性は十分にある。 初級・中級・上級のコースの開発が可能 現在定期バスの路線からは多少離れているが道路事情は申しぶんなく駐車場が完備されればその心配はない。 ゲレンデ・コースの魅力・眺望その他で十人を集めることができる。
交通	<ul style="list-style-type: none"> 市の中心部、また白鷹・飯豊・南陽・川西等から距離的にどうか。道路幅・除雪状況。バスの論議は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路の状況、雪質等からみても置賜のスキーヤーが集る可能性が十分にある。
	<ul style="list-style-type: none"> 県・郡・市大会のうち、どの程度の大会が開催できる可能性や要素をもつか。 	<ul style="list-style-type: none"> 郡大会・市大会はもちろん、県大会の開催も開発によって十分可能である。
索道	<ul style="list-style-type: none"> 地形に合った機械力は何か。(チェアリフト・シュリップリフト・ポニーリフト・ロープトウ) 	<ul style="list-style-type: none"> リフト一基で3コースとれる可能性をもつ他にシュリップリフト・ポニーリフト及びロープトウ
	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場のとれるスペースはあるか。ゲレンデの附近に駐車場はとれるか。開発は。 	<ul style="list-style-type: none"> スペースは十分である。
電力	<ul style="list-style-type: none"> 電力設備の設置は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 容易である。
	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な見地からの所見 	<ul style="list-style-type: none"> 広大な緩斜面を有し事故・傷害の危険性も少なくスキー授業やスキー教室には最適である。 斜面も多様にとれ初級から上級まで楽しめる。 市営スキー場として最適である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 既存の施設との関係等 	<ul style="list-style-type: none"> 新長井ダムの観光にも一役かえる。 ラングラウフのコースもとれる。

長井市スキー場開発調査報告書から

市スキー連盟(会長赤間 寛)では、スキースポーツの多様化という状況から見て、学校のスキー授業、一般のスキー、競技大会等の開催可能な施設々備を兼ねそなえたスキー場が、当市には是非実現していただくべく、既存のスキー場、並びに可能性のある候補地を調査し、報告書にとりまとめたも

の結果が出ました。(左図)

です。その中でスキー場として兼ね備えるべき諸条件、地形及び面積、スキー場の方位と安全性、斜度及びコース、交通機関と駐車場の観点から見て、道照寺平スキー場が最もふさわしいスキー場であると判断している。との調査



予定図

